

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2016年4月1日 151号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



学術学園都市構想

社会インフラ整備の中でも、未来への投資である学園施設の構想は、希望を創り出す重要な部分。これは図書館（想像図）



意欲ある若者たちに魅力ある施設を!

地球環境を守るパンタナールの砦として

今日、地球環境問題に関する報道は、質・量ともに飛躍的に増しています。人類の存亡にも関わる地球規模の深刻な問題であります。ながら、国家間の利害調整まで必要であることから、解決の糸口を見つけることだけでも、決して容易なものではありません。

地球の肺と言われる、南米の酸素供給地であるアマゾンと、それに隣接するパンタナール地域は、世界自然遺産に指定されながらも、自然破壊が日増しに深刻さの度合いを増しています。

パラグアイは、南米のほぼ中心に位置し、河川が人間と自然とともに重要な役割を持つ内陸国です。鉱物資源は乏しく、現在は牛の放牧と大豆栽培に代表される農牧業が主産業です。かつて二十世紀には大規模に牧場と農地を開墾し、それゆえ森林の伐採面積の比率が世界ワーストクラスとなっています。

パンタナール地域の南部に位置するレダ基地では、南北米福地開発協会と、現地設立の非営利財団法人とが、パンタナール研究所（中田実所長）を創設し、パンタナールの生きとし生けるものが幸せに共存できる、モデル的な福地村の建設を目指してきました。

今回は、パンタナール研究所における、本来の自然が持つ潜在力を活かし、自然環境と人間の生活とを調和的に発展させようとする現場での様々な試みに基いて立案した、未来構想の特色ある部分を紹介いたします。これは将来の学術学園都市として、レダ八万ヘクタールの核心部ともなる一大研究機関を構成するものとなります。

今世紀初頭、レダプロジェクトの発足当時、環境問題を中心として、パラグアイ共和国首都のアスンシオンにおいて、北米のブリッジボート大学等を中心とした学術会議を開催し、多くの論文提出と成功し、稚魚の放流が行われるようになりました。

先号で紹介したマスター・プランにおけるレダの学術学園エリアには、東京ドーム85個分（2 Km × 2 Km）の敷地の中に、国立アスンシオン大学と共に、パンタナール研究センターを実現する計画です。同時に地域住民の医療センターも併設されます。（二面に続く）

給水塔のメンテナンスが完了



パクーの養殖池で稚魚を整理する。

長い間懸案であつた給水塔の修復が、皆様のご協力によつて、ついに成ることが出来ました。底には大量の泥土が堆積しており、塔の内壁にはたくさんの貝類が付着しておりました。業者によれば内部の状態は比較的良好とのことでしたが、今回深刻なダメージを受ける前に補修をすることによつて、この塔の寿命を大きく延ばすことが出来たとのことでし
た。特殊な防水ペンキが内外に施され、さらに10年間は問題ないそうです。これからもレダのシンボルとして、末永くそびえていてくれることと想います。



従つて、養殖池にいる魚の数を調整して、魚の生きるスペースを確保してやらなければなりません。現在、上山氏が日本に帰国中のため、中田所長がすべてに責任を持つて魚の整理整頓を

魚はどんどん成長します。魚の成長度合いに

長い間懸案であつた給水塔の修復が、皆様のご協力によつて、ついに成ることが出来ました。底には大量の泥土が堆積しており、塔の内壁にはたくさんの貝類が付着しておりました。業者によれば内部の状態は比較的良好とのことでしたが、今回深刻なダメージを受ける前に補修をすることによつて、この塔の寿命を大きく延ばすことが出来たとのことでし
た。特殊な防水ペンキが内外に施され、さらに10年間は問題ないそうです。これからもレダのシンボルとして、末永くそびえていてくれることと想います。

A photograph showing two individuals from behind, wearing light-colored caps and purple aprons. They are working with a large green plastic tub filled with water and many small, white, young fish. The person on the left is reaching into the tub, while the person on the right is looking down at it. The scene is outdoors, with sunlight reflecting off the water.



一 夜停泊したいとの連絡が事前にあり、私は羊と豚とパクーをほふつて最大限の歓迎をしました。海兵隊冒たちは、ふんだんな食事を満喫したのち、テレビでサッカーの試合を観戦したり、ある人はプールで泳いだりしてひと時の息抜きをしていました。そして艦長と女性隊員三人はゲ

三月九日午後五時半
パラグアイの持つ最大
の軍艦がレダの港に寄
港しました。艦長以下
35名の構成で、新しい
海兵隊の訓練を兼ねて
アスンシオンからバイ
アネグラまで往復する
とのこと。その途上、
私たちの港に立ち寄り

パラグアイ軍艦レダに寄港

三月九日午後五時半、
パラグアイの持つ最大
の軍艦がレダの港に寄
港しました。艦長以下
35名の構成で、新しい
海兵隊の訓練を兼ねて
アスンシオンからバイ
アネグラまで往復する
のこと。その途上、
私たちの港に立ち寄り
一夜停泊したいとの連

今、オリンポでは土手の補修作業点検がなされています。また近くの場では、牛の移動や販売がなされいろな情報によれば、今年は川の水位との予想で、各地とも警戒態勢に入ちも昨年、堤防を1mかさ上げしまく述べておきたいと思います。

ストハウスに泊めてあげました。艦長は我々の心からのもてなしにとても感謝して、何度もお礼を述べて、翌朝、六時前に出航していきました。

アメリカより北中氏到着

レダに人員が少なくなったとのことで、急きょアメリカから北中氏が応援に駆けつけてくれました。

二月二十二日にはアシンシオンに到着し、北中氏と空機。飛行できず、三月も飛行できず、三月八日の火曜日によくバイアネグラの飛行場に降り立つことができました。人手が少ないこの時期、いつも熱心な北中氏を迎えて、とても感謝です。

各地で洪水の警戒態勢に入る

今、オリンポでは土手の補修作業や排水ポンプの点検がなされています。また近くのブラジル人の牧場では、牛の移動や販売がなされています。いろいろな情報によれば、今年は川の水位が相当上昇するとの予想で、各地とも警戒態勢に入りました。私たちも昨年、堤防を1mかさ上げしましたが、その範囲内で収まってくれることをただ祈るばかりです。



排水溝を塞ぎ排水管を埋める。

今、オリンポでは土手の補修作業や排水ポンプの点検がなされています。また近くのブラジル人の牧場では、牛の移動や販売がなされています。いろいろな情報によれば、今年は川の水位が相当上昇するとの予想で、各地とも警戒態勢に入りました。私たちも昨年、堤防を1mかさ上げしましたが、その範囲内で収まってくれることをただ祈るばかりです。

位が排水溝の出口を超えての排水溝を塞ぎました。それ故、汚水の排水はポンプを使うしかなくなりました。三月初めに排水溝を閉じたのは初めてです。下水口の端にたまつた水を数か所ポンプで排水しています。今後、少なくとも水の下がり始める八月過ぎまではこの状態が続きます。(佐野記)

の補修作業や排水ポンプの
また近くのブラジル人の牧
かなされています。いろいろ
は川の水位が相当上昇する
瓶態勢に入りました。私た
さ上げましたが、その範
ことをただ祈るばかりです。

ストハウスに泊めてあげました。艦長は我々の心からのもてなしにとても感謝して、何度もお礼を述べて、翌朝、六時前に出航していきました。

来日中の伊達勝見氏に質問しました



果樹のポット苗に灌水する伊達氏。



新しいトラックが到着し、機動力アップ。

②レダで苦心したこと 時間作り。雨季は雑草がすさまじく繁殖し、乾季は幼木への灌水が大仕事です。果樹の繁殖では、挿し木や接ぎ木の成功率をいかに上げるか、苦心しました。堆肥作りもはじめは困難でしたが、土着菌の活用に成功してからはうまく行っています。新しい車と草刈機は、労働力不足を補つてくれて感謝です。

本来は植樹園の育成と管理。しかし人員の慢性的な不足により、農業、管轄機、食事などの業務全般も担当します。③将来の抱負 パクー

例えればアルガロボを10m間隔で植え、野菜

栽培もできる森林園のモデルを作りたい。またレダに来

る青年たち向けに、森林樹と森づくりの意

義を学べるプログラ

ムも考えていました。

④日本滞在中にしたいこと 情報収集や勉強。



折り紙教室(バイア・ネグラ)



植樹奉仕(レダ基地新植樹園)

⑤日本の皆様へひと技術体験などをしたいです。

レダは現地に行かないところには分からないことがあります。一年間くらい滞在してみてください。自分自身の問題として取り組むことが大切だと思います。

第十六回青年奉仕隊員募集!!

本年も国際協力青年奉仕隊を派遣します。あなたのが若い日に、地球の反対側に飛び、汗を流して異文化の人々と心を通わせる奉仕活動！原初の姿の大自然に触れ、自分自身を脱皮して、未知の可能性に挑戦してみませんか！

期間 八月二十四日～九月十一日（予定）

プログラム レダ近隣地域での奉仕活動、レダでの活動体験（開拓・植樹・栽培・牧畜・養殖・釣り・乗馬など）、首都アスンシオン、メノナイトの築いた都市ロマ・プラタ、先住民の村、イグアスの滝などの見学・観光など（予定）

参加費 十五万円（参加者の負担額）

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会

応募締め切り 一次選抜四月三十日、二次選抜五月三十一日 応募は健康な方に限ります。

連絡先 office@asd-nsa.com (担当 島田賢二)

一般社団法人南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話：044-829-2821
FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール：office@asd-nsa.com
ホームページ：<http://asd-nsa.com>

会員種別

♠会員一口1000円／月

♦特別会員一口1万円／月

♣法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ)南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページから入手できます。

お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局 office@asd-nsa.com へお願いします。